

# 第18回長井marathon

## 10月17日開催 絶好の晴天に走る

長井市市制施行 50 周年記念

事

業として開催された「第 18 回長井 marathon 大会」は、10 月 17 日雲ひとつない絶好の marathon 日和の中開催された。今年は記念事業として日本ケミコン女子陸上部、泉田監督と長井市花作町出身の小杉奈美選手を迎えての大会。

前日には、長井南中学校・北中学校・長井高校・長井工業高校などの陸上部を対象にランニング教室も開催された。そして同日夜、二人の歓迎会では「よさこいソーラン踊り」も飛び出しにぎやかで楽しいひと時となった。



### 泉田利治監督の主な経歴

昭和 29 年 4 月生 宮城県塩釜市出身 仙台育英高校卒業 略歴

昭和 61 年 日本ケミコン女子陸上部監督就任

昭和 62 年～平成 15 年 宮城県女子駅伝 17 連覇中

平成 6 年 千葉国際女子駅伝全日本コーチ 優勝

平成 7 年 全国都道府県対抗女子駅伝宮城県監督 優勝

平成 8 年 横浜国際女子駅伝 全日本コーチ 優勝

平成 10 年 アジア選手権(福岡)全日本コーチ  
10000m 高橋銀メダル

平成 11 年 世界陸上全日本コーチ  
10000m 高橋千恵美 5 位入賞

平成 12 年 シドニーオリンピック全日本コーチ  
10000m 高橋千恵美 15 位

平成 13 年 ソウル国際女子駅伝全日本コーチ 2 位

同 4 月 全日本実業団女子長距離副部長就任

同 6 月 オリンピック強化部専任コーチ就任

平成 16 年 北京国際女子駅伝全日本監督  
全日本チーム 準優勝

同 2004 英国グレートスコティッシュマウンテン 全日本監督

ランニング教室は約一時間、時間が足りないという感じではあったが、運動前のストレッチや走りの基本など丁寧に解説され教えられた。走りの姿勢は、あごを上げず少し前したに視線を、かかとから着地、肩の力を抜いて、ひじで腕を振る、など。小杉選手の後ろについて、一流の走りを学ぼうと一生懸命だった。



歓迎の花束が渡された小杉奈美選手



佐藤美穂さん、元陸上部マネージャーで長井市に嫁いだ越津美樹さんも出席

### 小杉奈美選手の主な経歴

昭和59年2月生 山形県長井市出身 九里学園高校卒  
主な成績

- 平成15年 横浜女子駅伝 東北北海道代表
- 同 宮城県選手権大会 10000m 優勝
- 同 東北選手権大会 10000m 優勝
- 平成16年 青梅マラソン 10000m 4位
- 同 仙台ハーフマラソン準優勝 1時間14分7秒
- 同 北京国際女子駅伝 日本代表 区間3位
- 同 韓国済州島ハーフマラソン 優勝
- 同 宮城県選手権大会 10000m 優勝
- 同 英国グレートブリテンマラソン 全日本代表5位



飛び入りの「よさこいソーラ踊り」は、事務局の丸山さんを初め、遠くは仙台、山形などから馳せ参じての実現となった。近年各地域で普及し始めた、小気味良い踊りだ。大いに盛り上がり歓迎会は無事終了した。

# marathonは午前9時30分start

実行委員は午前5時30分集合、直ちに朝飯「特製カレーライス」を食べ準備にかかる。作業はみな手馴れているので早い。フィニッシュゲートをつくり白いマーキングで順路を示す。この日は、長井市バレーボール大会も開かれ生涯学習プラザ周辺はごった返し……。選手は早い人で6時ごろから来る。今年は、フルマラソン・ハーフマラソン・10キロの部・ファミリーの部の各部門に661名のエントリー。団体は東根自衛隊・山形市総合スポーツクラブトップロード・そして地元から自民党青年部がエントリーした。



9月11日封切の「スウィングガールズ」は山形県置賜地方がロケ地、かわいい山形弁と愛らしい「フラワー長井線」が主役？だ。長井線は経営ピンチ、この **SWING GIRLS** で山鉄を後押ししたい。Marathonに参加した人や、同伴者大会役員・ボランティアにももっともっと知ってもらい、観てもらいそして山鉄に乗ってもらいたい。その一心だ。



自民党青年部の各選手



トップロードの各選手



# 大会スタッフ・・・



長井南中学校のボランティアの皆さん。真ん中  
青いジャージが小杉奈  
美選手、後の水色ジャ  
ージが泉田監督、みな  
で記念写真です。



ファミリーの部の選手が同伴者と  
共に次々フィニッシュ。程なく10  
キロの部トップ選手が来る。協議  
終了後には「右写真」南中のボラ  
ンティアがジュースやバナナなど  
を振舞う。10月のさわやかな季節  
のスポーツイベントである。





小杉奈美選手はまだ21歳、これからの選手だ。高橋尚子や野口みずき選手のようにフルマラソンを目指してほしい。北京 Olympic に向けて、じっくりと調整しいずれ日本代表になってほしいと願っている。  
日本ケミコン女子陸上部の「応援隊」ホームページを立ち上げて、長井市民にもっともっと活躍を知ってほしいと思う。